

能登香の里

# あわい村

No. 19

発行  
平成26年11月 7日  
粟井地区・村創りの会  
事務所 (たぬき茶屋)  
76-1373  
AWAIMURA.COM

## 「美作市の民話を巡る！ウオーキング」 里の秋



11月22日には、粟井地区で「美作市の民話を巡る！ウオーキング」の第四弾「里の秋」を巡るウオーキングコースがあります。

10月16日その下見があり、粟井地区村創りの会でも全面協力しています。安藤由貴子さんの素晴らしいイラストマップも粟井の財産になります。



村創りの会では当日のコースを「粟井オールド」1号コースにするため、10力所の標識も手作り制作中です。志民のご協力をお願いします。

## おかやまアダプト事業を検討

梶原と粟井中の「粟井村の看板」周辺の美化活動をして頂くボランティアグループを募集しています。アダプト(ADOPT)とは、養子にするという意味です。道路や河川など一定区画が、住民や企業によって、愛情と責任を持って清掃美化されることから、「アダプト(養子にする)」に例えられ、「アダプト・プログラム」と呼ばれています。わたしたちでは、最近のボランティア意欲の高まりに際し、ボランティア活動に意欲を持つ住民にまちづくりに参加してもらい、美しい生活環境や快適な空間をつくる新しいシステムが、「アダプト・プログラム」です。



次のような活動を行う10人以上のグループとします。  
《道路》500m以上(うち岡山県管理の国道・県道が概ね半分以上)の区間を年間4回以上清掃美化すること。または岡山県管理の国道・県道の路肩等に設置された延長20(50m程度)の花壇や植樹帯内の花木の植栽・管理を年間を通じて行うこと。来年2月申請を予定しています。

## 粟井地区・自主防災協議会を検討

先日、社協役員会に於いて、「平成二十六年度美作県民局自主防災組織づくり支援事業(案)」と「美作市独自の取り組み」について山本危機管理監から説明を受けました。前者は「地区歩きと防災マップづくり」をNPO法人、市、地元協働で行うものです。後者は、「避難行動要支援者」を個別支援計画書により支援するものです。地域の様々な人と人のつながりにより平時時・災害発生時を通じた支援体制づくりを進めていくものです。

今後、粟井地区の自主防災会5団体と粟井自治振興協議会・防災安全部、消防団と協働で検討し、対応していきます。

## 共生対流事業

### ◆粟井マップ改訂版作成中

昨年全戸配布した「粟井マップ」ですが、まだまだ不十分です。皆さんの意見を参考に改訂版を作成中です。大きさもA4からA3へ倍増します。「北向き不動院」や「御旅所」「大納言墓石」「粟井中村城跡」「銀山探掘跡」「魔狩地蔵」「堂屋敷」「滝山」など児童の意見も参考に追加編集中です。郷土の史跡、埋もれた道標など、いわれのある物、場所を探しています。各地区の情報を事務局までお寄せ下さい。これが最終版です。十一月末日切りです。

◆冬バージョンのパンフ制作中。  
猫友会の支援を得て、若手が新たなジビエ料理に挑戦します。

## 粟井地区村創りの会(NAJN)を検討中

◆粟井地区村創りの会(NAJN)を検討中。  
元気な地域を訪れると、そこには必ず元気な女性達がいまいます。粟井村もそつありたいものです。そこで、前述の会の設立を検討しています。活動内容は、村創りの会とNAJNリーダーのもと①今まで先達たちが築いてこられた食文化の継承。  
②新たな視点での「特産品」開発。移住してこられたブドウ農家、桃農家等と連携しての加工品の開発。  
③「収穫祭」「ふれあいの集い」「春日歌舞伎」「とんど」など今後企画されるイベントの支援。  
④若者との交流。美作市や他地域、他の組織との交流。  
⑤宅配を含めた、「道の駅構想」の促進。  
⑥校舎の後利用への対応。  
などを考えていますが、出来る人が、出来る時に、出来ることをする事で粟井村を活性化させていく。粟井村活性化を目指し、運営は、多数で協議して進める事が基本で、幅広い年代層が伸び伸びと創意が発揮できる組織にしていきたいです。複数の役員、会計、監査、総会の実施が原則です。

### ◆粟井地区村創りの会主催「講演会」のご案内

「里山資本主義」で有名な藻谷浩介先生の講演が実現しました。日々が分刻みのスケジュール、受信メールが年一万通超、送信メールが約四六〇通(二日十三通)、事前打合せはメールのみかつ最低限。講演後の時間は無し。注意事項は、会場内外に厳禁禁煙、ごく微量でも、たばこ成分に物理的に耐えられない体質。粟井村のこれからの目指す方向が学べます。

## 講演会のご案内

期日：平成27年3月19日(木)  
A.M. 10:00~12:00  
会場：春日座 (美作市粟井中) 入場、先着200名  
講師：藻谷浩介 (もたにこうすけ) 先生 \*絶対禁煙  
内容：マネー資本主義から里山資本主義への価値観の転換を中心に田舎の目指すところ。



著作：しなやかな日本列島のつくりかた [新潮社]  
里山資本主義 [角川] 30万部  
実践！地域再生の経営戦略 [きんざい]  
エネルギーから経済を考える [合同出版]  
\*その他執筆多数。

特技・余技：平成合併前3200市町村すべてを、巡歴、海外60カ国を巡歴、合併前の市町村46%を自転車で走破、国内の定期運行の鉄軌道の全線を完乗。

学歴：東京大学法学部卒業 コロンビア大学経営大学院卒業  
現職：日本総合研究所 調査部 主任研究員  
日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問  
特定非営利活動法人 ComPus 地域経営支援ネットワーク理事長

### ものを考える際の信条

- ①絶対数/事例/地理歴史から帰納した仮説を、基本的条理からの演繹と照合、現実の構造を把握する。
- ②常識は疑い、慣用語は用いず、先入観は排し、反証のある社会通念や各種主義主張には従わない。
- ③権力欲、他人や他国への優越感/劣等感、学歴/学術/技術信仰、安易な保守/革新指向を排する。
- ④議論・発言の中で臆さず自説を示し、間違っていた場合には悪びれず偉ぶらずすぐ修正する。

主催：粟井地区村創りの会  
後援：美作市、美作市教育委員会  
作東地域自治振興協議会、みまちゃんネル